



公園協会50周年

公益財団法人 神奈川県公園協会 50周年記念サイト

次の50年へ

～公園に新たな価値を～



50th
anniversary

50TH ANNIVERSARY

公園の価値は十人十色



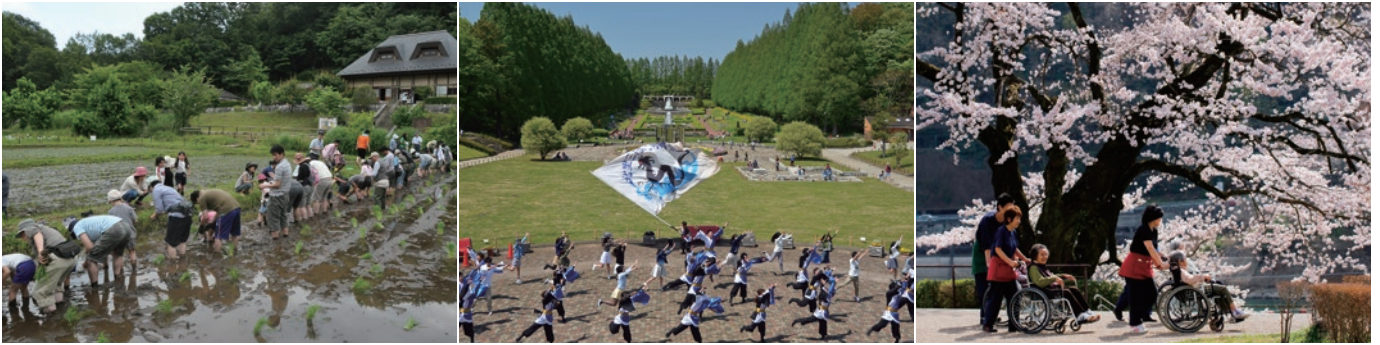
2025年3月20日、公益財団法人神奈川県公園協会は設立50周年を迎えます。共に歩み、支えてくださったすべての皆様に、心から感謝申し上げます。

突然ですが、皆様にとって、「公園の価値」って何ですか？

教科書的には、公園の価値(機能)は「存在効果(都市環境の改善、自然環境保全機能、防災面での機能…)」「利用効果(レクリエーション利用の機能、文化活動の場としての機能…)」などと説明されます。ここでは、そのような説明はひとまず置いておいて、皆様が各々思う公園の価値を思い浮かべてみてください。



例えば、ファミリーで来園される方にとっては「家族と遊ぶ憩いの場」、昼休みなどに1人で利用される方にとっては「ボーっと過ごす休息の場」、スポーツ好きの方にとっては「ランニングやテニスなどのスポーツを楽しむ場」、積極的に花壇管理に参加されたり、イベントのステージに立たれたりする方にとっては「自己実現を図る場」、地域の人とのおしゃべりや花や動物とのふれあいを楽しみに来園される方にとっては「人や自然との交流の場」等々、まさに公園の価値は十人十色の無限大。



こんな公園の無限大の可能性を皆様と共に最大限引き出し、新たな価値を
どんどん創っていききたい！！そんな思いを込めて、キャッチフレーズは

「次の50年へ～公園に新たな価値を～」

としました。

これまでの神奈川県のパーク、そして公園協会の歴史、協会職員の公園に対
する熱い思い、公園の推しスポットや推し体験など、このサイトでどんど
ん発信していきます！！

1人でも多くの皆様にこのサイトをご覧ください、「明日、ちょっと公園に
行ってみようかな」と思っただけなら、幸いです。

ごあいさつ

message



50TH ANNIVERSARY

設立50周年にあたって

公益財団法人神奈川県公園協会は、2025年（令和7年）3月20日に設立50周年を迎えます。この間の県民の皆様や協力団体・企業・ボランティアの皆様のご指導、ご支援に深く感謝申し上げます。

当協会は、公園緑地の維持管理・利用増進及び緑化思想の啓蒙普及を行うことを目的に1975年（昭和50年）に財団法人神奈川県公園協会として産声をあげて以降、10年、20年、30年、40年と齢を積み重ねてきた中で、様々な変化に対応してまいりました。

1995年（平成7年）には、財団法人神奈川県自然公園協会と合併し、自然公園の利用増進にも取り組んでいくこととなりました。また、平成15年（2003年）の地方自治法の改正による公の施設への指定管理者制度導入により、民間企業等との競争を経て公園等の管理運営を行うこととなり、より一層の効率的・効果的な管理運営に取り組んでまいりました。更に、公益法人制度改革により、2011年（平成23年）には、公益財団法人となり、「みどり・環境の保全と創造の普及啓発」、「県民の健康・福祉の増進」、「地域社会の健全な発展」に寄与するという法人の目的が更に明確になりました。

この間、2011年（平成23年）の東日本大震災の教訓から公園の防災機能としての重要性が、また、2020年（令和2年）からのコロナ禍を経て、公園が人々の心身の健康に不可欠な存在であることが改めて

認識されるようになるなど、公園に対する人々のニーズは多様化し、地域社会において公園が果たす役割も益々大きくなってきています。

私たちは、永きにわたって培ってきた公園管理運営のノウハウを活かし、公園の健全な利用を推進するとともに、地域と連携し、周辺地域の街づくりや課題解決にも取り組むなど、地域社会に常に信頼される存在となれるよう、一層の努力を重ねる所存ですので、今後とも皆様の温かいご指導、ご鞭撻をいただきたく、よろしく願いいたします。

公益財団法人 神奈川県公園協会
理事長 横溝 博之



職員インタビュー

staff interview

秦野戸川公園

公園の安心・安全・きれいを支える 技術集団でありたい！

公園管理担当 Y.H さん

2015 年度入社（8 年目）

秦野戸川公園で花壇の管理や除草、施設の修繕などを担当している。



インタビュー

●仕事への思い

私たち外勤職員は「公園の安心・安全・きれいを支える技術集団」でありたいと思っています。多様なバックボーンを持つ職員が、各々の技術や知識を伝えあい、チームワーク良く仕事をしています。利用者の皆様に楽しんで、安らいでいただきたいとの思いで、花壇のデザインなども皆でアイデアを出し合っています。除草や日々の巡視など、仕事量も多く、天候にも左右される仕事ですが、これまで蓄積してきたノウハウを活かしながら、安全第一で計画的・効率的な管理ができることを心がけています。

●公園協会を一言で言うと？今後の展開や期待は？

「公園を通じて社会貢献できる団体」

公園で働いていると利用者の皆様の反応が見えるので、どうしたら気持ちよく過ごしていただけるのか常に意識します。例えば草刈り跡が爽やかに見えるよう刈る場所や順番など、工夫し、丁寧に行っています。地道で大変な作業も多いですが、「来て良かった」、「綺麗ね」などと言ってもらえると、皆様や地域のためになっていることが実感できます。このような「公園愛」が公園協会の最大の強みだと思います。

今後も、公園愛を持った公園管理のプロ集団であり続けたいと思います。もっと若い人も一緒に働けると更にパワーアップできると期待しています。

●感謝のメッセージ

【利用者の方々へ】

いつもご利用ありがとうございます。楽しんでいただけていますでしょうか。安らいでいただけていますでしょうか。皆様の反応が、日々の仕事の励みになります。まだまだ不十分なところがありますが、これからも、皆様に喜んでいただけるよう頑張ります。

【公園管理に関わって下さっているの方々へ】

いつも公園管理にご協力いただきありがとうございます。これからも、一緒に、地域や利用者の皆様に誇れるようなきれいな公園を創っていきましょう。



園内では1年を通じて美しい花が楽しめます

茅ヶ崎里山公園

皆さんと一緒に公園・地域づくりに 取り組んでいます！

利用促進担当 Y.N さん

2006 年度入社（17 年目）

茅ヶ崎里山公園でイベントの企画運営、
公園ボランティアの事務局などを担当している。



インタビュー

●仕事への思い

公園の仕事と言うと植物や施設管理をイメージする方が多いと思いますが、私は、公園で活動されている地域の方々やボランティアの皆様のサポートなどを主にしています。

ボランティア活動やイベントには多くの方々携わって下さっていて、様々な意見がある中、時にはぶつかり合いながらも、やり遂げた時の達成感や一体感はとても大きいです。

また、参加した子ども達が、里山やその保全活動に関心を持ってもらえたら嬉しいなと思います。



ボランティアの方との交流の様子

●公園協会を一言で言うと？今後の展開や期待は？

「居心地の良いところ」

若い人や新しく地域に来られた方々にもお声掛けして、公園・地域づくりに巻き込んでいきたいと思っています。こうした中から、マルシェなど新しい取組も生まれてきています。そこに昔から活動して下さっている方達が持つノウハウや公園愛を受け継ぎながら、

公園や地域をもっと盛り上げていきたいと思っています。

●働き始めて現在までを振り返って

ボランティア「茅ヶ崎里山公園倶楽部」の会員数が減ってしまった時期もありましたが、広域での広報、そして何より、コロナ禍で屋外の緑の中での活動に注目が集まり、会員数が増に転じました。緑の価値が再認識されたこと、嬉しく思っています。

●感謝のメッセージ

【利用者の方々へ】

いつもご利用ありがとうございます。様々な方が利用される公園には、事故防止等のため利用ルールがあり、不自由をおかけすることもあるかと思いますが、皆様がルールを理解し受け入れて下さるので大変感謝しています。これからも、コミュニケーションを大切にしながら、より良い公園・地域づくりに取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

【公園管理に共に関わって下さっている方々へ】

長年、公園の管理運営に協力していただきありがとうございます。皆様のおかげで公園が成り立っていると言っても過言ではありません。公園への愛情を原動力にひたむきに動いてくださる姿を目の当たりして、本当に頭の下がる思いです。これからもよろしくお願いします。

秦野ビジターセンター

丹沢の自然を伝えるインタープリター

自然解説担当 M.T さん

2007 年度入社（16 年目）

秦野ビジターセンターで、丹沢の山を歩いて自然情報の収集、展示物作成、イベントの企画運営などをおこなっている。



インタビュー

●仕事への思い

多くの人に丹沢の自然について伝え、興味を持ってもらうことが仕事です。そのため、伝えたい人に寄り添った言葉選びや、誰もが楽しめることを意識し展示や解説を行っています。試行錯誤の繰り返しですが、皆様から「おもしろかった」「役に立った」などのお言葉をいただくと励みになり、もっといいものを創りたいという気持ちになります。



自然教室にはたくさんのお子様に参加してくれます

●公園協会を一言で言うと？今後の展開や期待は？

「憩いの場の管理者」

県内の東西南北、様々な公園等を管理しているという特性を活かし、各施設で連携しながら、広範囲での自然情報の収集と発信をしていければ良いと思います。丹沢以外の渡り鳥の飛来や開花情報、外来種の情報などが入ると、ビジターセンターでの情報発信にも役立ちます。県内各地の自然情報をまとめて知ることができるツールがあると多くの方に喜ばれるのではないのでしょうか。

●働き始めて現在までを振り返って

県内の県立ビジターセンターが 2 施設にまで減ってしまい寂しさを感じています。今も、閉館した宮ヶ瀬と丹沢湖ビジターセンターの資料などを活用し、過去の自然情報として HP で発信するとともに、引き続き西丹沢ビジターセンターと連携してその地域の情報収集と発信もしています。



丹沢の山での情報収集の様子

●感謝のメッセージ

【利用者の方々へ】

いつもご利用ありがとうございます。まだまだ至らない点もありますが、私たちが伝えたいことに興味を持っていただき、楽しんでいただけている様子を見ると、とてもありがたく思っています。今後も皆様が訪れたいようなイベントや展示を企画していきたいので是非ビジターセンターへいらしてください。

【ビジターセンターの運営に関わって下さっている方々へ】

私たちが外に出られない時に登山道の情報などを提供していただいたり、把握していない情報をいただいたり、とても助かっています。一緒になって地域のことを考えていただき、大変感謝しています。登山道などで声かけていただくと励みになります。これからもよろしくお願いします。

大磯城山公園

公園の基本的な維持管理を大切にしたい！

副園長 H.O さん

2008 年度入社（15 年目）

大磯城山公園の副園長として、公園の予算管理や利用者サービスの向上、職員の働きやすい環境づくりなどに取り組んでいる。



インタビュー

●仕事への思い

公園は自然や季節の移ろいを感じられる身近な場所として唯一無二の存在。そんな場所で皆様が快適に安全に過ごせるよう、基本的な維持管理に力を注いでいます。

例えば、巨木化した樹木の伐採や剪定を実施することで、事故を未然に防ぐと共に眺望改善を図っています。このような日々の維持管理によって、公園本来の魅力を引き出し皆様に愛される公園にしていきたいです。



眺望改善の例 園路から海が望めるようになりました

●公園協会を一言で言うと？今後の展開や期待は？

「維持管理の基本を大切にす公園管理者」

指定管理者制度が導入され、様々な事業者が競いあい、各々のノウハウを生かした公園管理が行われる中、清掃、植物・施設管理、安全点検などの基本的な維持管理を変わらず大切にできる組織。

公園管理の在り方はこれからも変化していくと思いますが、基本を疎かにせず公園管理のお手本とされるような組織であり続けたいです。

公園協会には様々な技術や知識を持つ人が集まっているので、より高度な技術を持つ人材を育成し、花苗や苗木の生産販売や、今まで直営で出来なかった管理を行えるようになると良いなと思っています。

●働き始めて現在までを振り返って

組織内の距離が縮まってきており、積極的に自分の意見を発信し、色々なことに挑戦できる環境になってきています。



県花ヤマユリなど園路沿いの花も楽しんでください

●感謝のメッセージ

【利用者の方々へ】

いつもご利用いただきありがとうございます。明るい表情で散歩されている姿などを拝見すると、公園が皆様の日常の一部であることを実感すると共に、仕事をする上での励みになります。

【公園管理に関わって下さっているの方々へ】

いつも公園管理にご協力いただきありがとうございます。技術やノウハウを最大限に発揮し、誇りをもって仕事に臨んでいる姿を目の当たりして、とても頼もしく思っています。これからもよろしくお願いします。

保土ヶ谷公園

公園を裏から支える最高のNo.2でありたい！

副園長 S.H さん

1997 年度入社（27 年目）

保土ヶ谷公園の副園長として、
総務・経理、収益事業、有料施設のシステム関連、
イベント対応など公園の運営を支えている。



インタビュー

●仕事への思い

副園長という立場上、色々な人の意見を集約して方針を決めたり、何かをお願いすることが多いので、相手の目線に立って何を望んでいるのか、どうお願いしたら気持ちよく働いていただけるのかを意識しています。

公園は、利用者の皆様、ボランティアの皆様、職員も含め、多様な人が集まる施設です。様々な立場や考え方があるので、時には摩擦が生じることもありますが、そういう時にお互いが尊重し合える関係を築くサポートができる潤滑油になりたいと思っています。

●公園協会を一言で言うと？今後の展開や期待は？

「一つの色に染まらない多様性のある組織」

様々な職歴や趣味、経験と知識を持った人が集まっている多様性のある組織。公益法人であり、官公庁とは違った柔軟性、民間企業とは違った公益性を有しており、この柔軟性と公益性を活かし、収益を得られるところはしっかり得て、これを利用者の皆様に還元していきたいです。

公園では、様々な年代の方、障がいのある方もない方も、多様な方々が活動しています。こうした方々がバラバラに活動するのではなく、垣根を超えて交流できる、そんなプラットフォームに公園がなれたら良いなと思い、誰もが参加できるスポーツイベントなどに積極的に取組んでおり、今後もこうした取組を進めていきたいです。



誰もが参加できる「ボッチャ大会」の様子

●働き始めて現在までを振り返って

公園協会職員として初めて育休を取得させていただきました。当時は育休取得が難しい企業等も多かった中、柔軟に対応していただきとてもありがたかったです。今後は更に働く人の多様化が進んでいくと思うので、それに対応した制度が整備されていけば嬉しいです。

●感謝のメッセージ

【利用者の方々へ】

いつもご利用ありがとうございます。多くの方が利用される公園で、譲り合いをお願いするなど、不自由をおかけすることもあると思いますが、これからも皆様とのコミュニケーションを大切に、より皆様に愛される公園となるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【公園管理に共に関わって下さっているの方々へ】

公園の運営方針にご理解いただき、時には厳しく時には寄り添った、ご意見ご提案をいただけることに感謝し、変わってはいけない部分はそのままに、新たなチャレンジの精神を持ち続けられるよう頑張っていきますので、今後もどうぞよろしくお願いいたします。

辻堂海浜公園

公園で人生を豊かに

園長 S.Y さん

1991 年度入社（32 年目）

辻堂海浜公園の園長として公園全体を統括している



インタビュー

●仕事への思い

コロナ禍を経て、公園が人々の心身の健康に果たす役割の重要性を再認識し、芝生広場などで利用者の方々が家族や仲間と談笑している楽しそうな姿を拝見すると、地道な維持管理が人々の日常を支えているのだと嬉しく、誇りに思うと共に、気の引き締まる思いです。こうした憩いの空間を提供するのはもちろんのこと、皆様が公園でやりたいこと、取り組んでみたいことへの実現をサポートしていきたいと思っています。公園が自己実現の場として機能することで、皆様の生活に彩りが増し、人生の豊かさに役立っていると嬉しいです。



地域の方々と一緒に開催している「辻の盆」の様子

●公園協会を一言で言うと？今後の展開や期待は？

「みどりの黒子」

公園は生活の基礎となる重要なインフラの一つだと考えています。これを裏方として支えるには、専門的な知識や技術が必要。指定管理者制度が導入され、民間事業者等と切磋琢磨する中で、技術も知識も磨かれてきたと思いますが、公益法人である公園協会しかできない管理運営とは何か、今後も考え続けることが重要だと思っています。

今後は、街を支える他の重要インフラ（病院や介護など社会福祉系の施設、学校などの教育機関、商店等）

とも連携し、公園管理を通じて、人々の暮らしをもっと豊かにできるような管理運営をしていきたいと考えています。

●働き始めて現在までを振り返って

指定管理制度が導入されて以降、基本的な管理は変わらず大切にしながらも、新しいことにチャレンジしたり、利用者ニーズをしっかりと公園管理に活かそうとする前向きな機運が醸成されてきたと思います。

また、若い頃に、仕事を通じて知り合った方たちと、市民参加型樹林地管理や伐採木等を活かす循環型管理などを学びに日本や世界の各地に行けたのも楽しい思い出です。

●感謝のメッセージ

【利用者の方々へ】

いつもご利用ありがとうございます。辻堂海浜公園のいいところは開放的な雰囲気だと思っています。それは私たちの管理だけでなく、来園される皆様の雰囲気が合わさって生まれていると思います。これからも公園を通じて皆様の日常を支えられるよう邁進していきます。

【公園管理に共に関わって下さっているの方々へ】

いつもご協力ありがとうございます。公園の価値を理解し、共に公園を盛り上げてくださる方たちがいることは、公園や地域にとって大切な財産です。これからも一緒に公園や地域を活性化していきましょう。